



## 1年間の成長を胸に 次のステージへ

本日は修了式でした。令和7年度の1年間が終わりました。いつものように朝、正門に立っていますと、これまたいつもと同じように、子どもたちがあいさつ運動やボランティア活動を頑張っていました。修了式の日であっても、変わらず続けている姿が本当に素晴らしいと感じます。

その、いつもの日常の中で、数名の高学年の子どもたちが私に向かって「1年間、ありがとうございました」と声をかけてくれました。思いがけない感謝の言葉に、「こちらこそ、ありがとう」と嬉しい気持ちになるとともに、「早いなあ…もう1年たったんだ…」と、1年前の4月を思い出し、感慨深いものがありました。

修了式では、学年代表児童に修了証を手渡しました。「おめでとう」と声をかけると、どの子も「ありがとうございます」と笑顔で返してくれました。ほんの小さなやり取りですが、子どもたちの心の成長を感じる瞬間でした。式の中では次のような話をしました。

「私は、ここにいる全員の通知表（修了証）を読ませてもらいました。そこには、担任の先生からみなさんへの温かいメッセージが書かれています。いくつか紹介しますね。

- ・「最初は発表に自信が持てない様子でしたが、何度も真剣に練習し、発表後は挑戦することの大切さを実感している様子でした。」
- ・「入学当初の心細そうな姿から、今では見違えるほど頼もしく成長しています。」
- ・「お面作りでは、大好きなヒーローを思い浮かべながら制作し、完成したお面をかぶってヒーローになりきる姿が見られました。」
- ・「いつもたくさんの友だちに囲まれていました。優しい言葉かけで多くの友だちに慕われています。お弁当の日には、一人でいる友だちを見つけると『一緒に食べよう』と声をかけていました。」
- ・「朝のボランティア活動にも積極的に参加し、掃除に率先して取り組んだり、元気にあいさつしたりと、学校のために力を尽くしてくれました。」

このように通知表には、みなさんの『成長したところ』『輝いていたところ』がたくさんつまっていました。読みながら、とても嬉しい気持ちになりました。後で担任の先生から通知表を受け取ったら、お家の方と一緒に読んで、自分のよいところをぜひ確かめてください。」

この1年間で、すべての子どもたちが確実に成長を遂げています。これは子どもたち自身の努力はもちろんのこと、ご家庭での温かい声かけやコミュニケーション、地域の皆様との関わり、そして学校での教職員の支援など、さまざまな大人の力があってこそその成長だと感じています。



明日から春休みになります。4月になれば、子どもたちは一つ上の学年に進級します。始業式の日には、また目をキラキラと輝かせ、新しい目標を胸に登校してきてくれることでしょうか。その日を心待ちにしています。

この1年間、保護者の皆様ならびに地域の皆様からの本校教育活動への多大なるご支援とご協力に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

